

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	11.76	42.69
	有償資金協力 (億円)	0	0
技術協力経費 (億円)		1.70	2.64
JICAの技術協力実績	形態別		
	研修員受入 (人)	3(新規)+0(継続)	28
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣 (人)	54(新規)+5(継続)	74
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	機材供与 (100万円)	0	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0
開発調査 (件)	1	1	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

わが国の対アンゴラODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 4.10 (72.8%)	技術協力 1.53 (27.2%)
---------------------------	-------------------------

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
国家開発・改善計画のための総合地理データベース構築	アンゴラ政府の要請に基づき、人工衛星からの映像を利用して、人口が集中する西部海岸地域中央部約12万km ² を対象として、縮尺10万分の1相当の地形図デジタルデータを作成し、特に人口集積が著しい首都ルアンダ約1000km ² を対象に縮尺2万5000分の1地形図および土地利用デジタルデータを作成する。このほか約6万7000km ² について空中写真撮影を行い、これらを総合地理データベースとする。1996年度は、実施調査の内容策定を目的として予備・事前調査を実施し、実施細則に署名・交換した。	公共事業都市計画省	

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易機材案件調査	実施促進・フォローアップ
ルアンダ市電気通信設備整備計画	アンゴラテレコム	エヌ・ティ・ティ・インターナショナル(株)				96.12 (本) 97.2 (本)	
劣悪な通信事情の改善を図るため、ルアンダ市内および郊外地域の電話網の整備（交換機のデジタル化および回線増など）を行う。							

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業地域開発 省	(財)日本国際協 力システム	96	6.00		97.2 (現)	96.4 (実) 96.11 (実) (95年度分)
<p>1991年の和平協定以降、国内安定化をめざしてアンゴラ政府は、帰還、帰郷する政府・反政府軍兵士、強制移住者、避難民に雇用機会を与えるとともに、そのマンパワーの活用によって需要増加に見合う食糧を増産することを目的とした中小規模農家支援計画を策定している。本計画では、食糧増産に必要な農業用資機材の一部を政府間の石油バーター取り引きによりアンゴラ政府が調達し、残り不足分を援助国ないし国際機関の協力により調達する方針である。同国政府は、1996年度はトウモロコシ、豆、イモ類を対象に食糧増産を実現するため、わが国に対して協力を要請してきた。本件は、上記計画の目的達成のため資機材の調達を図るものである。</p>							

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ジョシナ・マシエル病院 医療機材整備計画	保健省 ジョシナ・マ シエル病院	ビンコー(株)	96	1.66	96.11.28	96.5 (報)	
<p>アンゴラ最大の国立総合病院であるジョシナ・マシエル病院では、財政が逼迫し、医療サービスに支障を来しているため、医療機材を購入する。</p>							

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国の ODA	無償資金協力 (億円)	26.38	168.59
	有償資金協力 (億円)	0	37.62
JICAの 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	1.39	8.22
	研修員受入 (人)	16(新規)+3(継続)	111
	専門家派遣 (人)	0(新規)+1(継続)	2
	調査団派遣 (人)	4(新規)+3(継続)	78
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	機材供与 (100万円)	26	55
	単独機材供与 (100万円)	22.34	42.34
	開発調査 (件)	0	0
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

わが国の対ベナンODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 公共・公益事業分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費 (千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
船舶整備訓練用機材	一式	22,336	農村開発省水産局	一般単独機材	専門家派遣

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
村落給水計画	エネルギー・ 山水資源省	(株)三祐コンサ ルタンツ	96	5.87	97.1.23	96.7 (事業 化審査基礎調 査)	

ベナンの給水事情はきわめて劣悪な状況にあるため、特に給水率の低いウエメ県、モノ県、ズー県南部地方を対象に、井戸建設を行う。

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農村開発省	(財)日本国際協 力システム	96	2.50	97.1.23		96.5 (実) (95年度分) 96.12 (実)
<p>ベナン政府は、現在の伝統的農法から農業資機材を投与する近代的農法への移行による土地生産性の向上を積極的に進める食糧増産計画を策定している。本計画は、ウエメ、アタコラ県を対象に除草剤、殺虫剤などの農薬および農薬散布機材の利用によって穀類増産を図ることを内容としており、同国政府はわが国に対し、計画推進に対する協力を要請してきた。本件は、上記計画に必要な資機材の調達を図るものである。</p>							

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

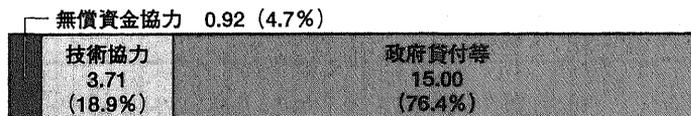
プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
小学校建設計画	国民教育省	(株)石本建築事 務所 (株)梓設計	96	6.28	96.9.24		
<p>ベナンでは、増大する児童数に対応するため、教室の建設を主に父母に依存してきたが、つくりが脆弱で就学条件が劣悪な状況にある。このため、老朽化した教室や仮設教室の建て替えを行うもので、今回(第1期)は、アトランティック県の24校を対象に、99教室、便所などの建設と机・椅子などの整備を行う。</p>							

ボツワナ

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国の ODA	無償資金協力 (億円)	1.59	9.65
	有償資金協力 (億円)	0	132.46
JICAの 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	3.73	14.14
	研修員受入 (人)	17(新規)+2(継続)	75
	専門家派遣 (人)	1(新規)+1(継続)	5
	調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	42
	協力隊派遣 (人)	18(新規)+37(継続)	71
	機材供与 (100万円)	11	56
	単独機材供与 (100万円)	0	4
	開発調査 (件)	0	1
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対ボツワナODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

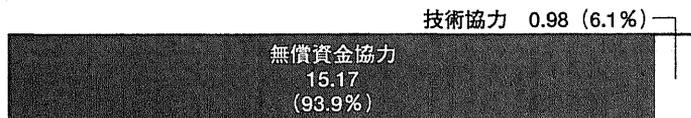


ブルキナ・ファソ

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国の ODA	無償資金協力 (億円)	6.00	134.72
	有償資金協力 (億円)	0	0
JICAの 技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.97	10.24
	研修員受入 (人)	9(新規)+1(継続)	78
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	1
	調査団派遣 (人)	19(新規)+0(継続)	106
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	機材供与 (100万円)	0	61
	単独機材供与 (100万円)	0	58
	開発調査 (件)	0	2
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対ブルキナ・ファソODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)



ボツワナ／ブルキナ・ファソ◎アフリカ

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
ギニア・ウォーム撲滅村 落給水計画	環境水利省水 利総局	(株)三祐コンサ ルタンツ (株)建設企画コ ンサルタント				96.11 (事) 97.3 (本)	
給水施設整備が遅れ、ギニア・ウォームの罹患症例が多い中部6県に対し、深井戸340本の建設および井戸掘削機、井戸資材、支援車両、教育活動機器などの調達を行う。							

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業畜産省農 業資材機械化 局	(財)日本国際協 力システム	96	4.50	96.7.31		96.7 (実)
ブルキナ・ファンの国家構造調整計画では、基幹産業である農業分野について従来の伝統的粗放農業から集約農業への転換を核とする中・長期的目標を設定し、農業資材の投入と適切な技術の普及によって生産性を向上させることを見込んでいる。ブルキナ・ファソ政府は、このような社会・経済構造計画と連係して中・長期的食糧自給、すなわち食糧安全保障につなげることを目的とした食糧増産計画を策定し、わが国に対し協力を要請してきた。この計画は同国南西部の黒ボルタ川上流地域および中央部を対象に、トウモロコシ、米、ソルガム、ミレットなどの増産をめざすもので、本件はその計画を支援するため、必要な農業資材（肥料、農薬）の調達を図るものである。							

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
小学校建設計画	基礎教育大衆 識字化省	(株)福渡建築コ ンサルタンツ				97.3 (本)	
第1次計画に引き続き、小学校教室の建て替え・改修、教員宿舎、トイレ、井戸などの建設、および机、椅子、戸棚などの整備を行う。1997年4月9日付で「第2次小学校建設計画」から「小学校建設計画」へ名称変更した。							

カメルーン

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	4.45	77.93
	有償資金協力 (億円)	0	102.66
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	1.30	16.54
	研修員受入 (人)	23(新規)+4(継続)	159
	専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	18
	調査団派遣 (人)	19(新規)+0(継続)	161
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	機材供与 (100万円)	0	48
	単独機材供与 (100万円)	0	15
	開発調査 (件)	1	3
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

わが国の対カメルーンODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 4.86 (62.9%)	技術協力 1.14 (14.8%)	政府貸付等 1.72 (22.3%)
---------------------------	-------------------------	--------------------------

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
地方給水計画	鉱山水エネ ルギー省	日本テクノ(株)	96	4.16	96.6.18		

カメルーンの1994年の地方給水率は約45%にすぎず、多くの住民が天水やたまり水などの汚染度の高い水源に飲料水を依存していることから、給水施設をもたない10カ所の村を対象に給水施設を建設し、関連機材を購入する。

● エネルギー分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調 査 業 務 受注企業名
小水力発電による農村電 化開発調査	本調査では、1995年にJICAがEDF (フランス電力公社) に委託し調査を行わせた報告書をもとに選定された、優先順位の高いポテンシャルサイトについて現地踏査を行い、技術的・経済的・環境的側面を含めた包括的評価により地方電化計画を策定し、必要とする施設 (取水堰、発電所など) についてフィージビリティ調査を行う。1996年度は、予備調査として、要請書の内容確認、プロジ	大蔵経済省 鉱山水エネ ルギー省	

	エクトの妥当性検討、関連資料の収集および現地踏査を実施し、発電所候補地点の見通しづけを行った。	
--	---	--

● 人的資源分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

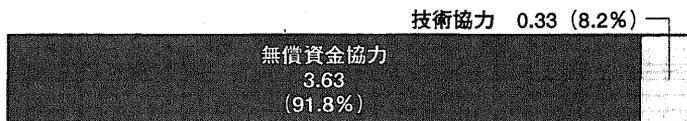
プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
小学校建設計画	国民教育省国 際協力プロジ ェクト局	(株)マツダコン サルタンツ				96.6 (事) 96.11 (本) 97.3 (報)	
ヤウンディ市およびドアラ市の小学校教室などの建設を行う。							

カーボ・ヴェルデ

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計	
わが国 ODA	無償資金協力	(億円) 3.55	71.97	
	有償資金協力	(億円) 0	0	
JICAの技術 協力実績	技術協力経費	(億円) 0.17	7.25	
	形態別	研修員受入	(人) 5(新規)+1(継続)	42
		専門家派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	5
		調査団派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	69
		協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
		機材供与	(100万円) 0	54
	単独機材供与	(100万円) 0	22	
	開発調査	(件) 0	0	
プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0		

わが国の対カーボ・ヴェルデODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業農村開発 水産省農林畜 産局	(財)日本国際協 力システム	96	2.00	96.7.31		96.8 (実)

カーボ・ヴェルデは灌漑化による野菜栽培を積極的に進め、国内野菜需要の自給率を高めるなどして農家収入の増大を図っている。同国で生産されている唯一の穀物はトウモロコシであるが、天水依存型農業であるため収量は降雨量に大きく左右され、穀物自給率は3～10%にすぎない。その不足分は輸入しているが、大部分は二国間の食糧援助に頼っている。本件は、同国が策定した主要食糧作物の増産計画に資する農業資機材の調達を図るものである。

中央アフリカ

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国の ODA	無償資金協力 (億円)	22.15	247.49
	有償資金協力 (億円)	0	6.00
JICAの 技術協力 実績	技術協力経費 (億円)	3.70	17.19
	形態別		
	研修員受入 (人)	8(新規)+0(継続)	120
	専門家派遣 (人)	0(新規)+1(継続)	9
	調査団派遣 (人)	26(新規)+8(継続)	109
	協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
	機材供与 (100万円)	1	159
	単独機材供与 (100万円)	0	53
開発調査 (件)	1	1	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

わが国の対中央アフリカODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 29.50 (88.6%)	技術協力 3.80 (11.4%)
----------------------------	-------------------------

カーボ・ヴェルデ / 中央アフリカ © アフリカ

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
バンギ市地下水開発計画	中央アフリカ政府の要請に基づき、バンギ市の水道未整備地域において衛生的な飲料水を安定して供給するため、地下水開発計画および水道計画を策定することを目的とする。1996年度は、第1次現地調査を実施し、現地踏査、地下水賦存量調査、水文観測などを行った。また、その結果を進捗報告書(I)、(II)に取りまとめた。	エネルギー・鉱山資源省水利総局	(株)協和コンサルタンツ 八千代エンジニアリング(株)

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易機材案件調査	実施促進・フォローアップ
3号国道舗装計画	公共事業省	(株)建設企画コンサルタント	96	14.79	96.11.12		
<p>内陸国である中央アフリカでは、空路を除くと、国外との輸送手段がウバンギ川の河川航路と国道3号線の2手段に限られている。雨期には国道が、また乾期には河川ルートでの運行・航行が困難になることから、輸送の円滑化による経済の安定化を図るため、ヤケロからボッサンテレまでの約70kmの舗装工事を行う。</p>							

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易機材案件調査	実施促進・フォローアップ
食糧増産援助	地域振興省	(財)日本国際協力システム	96	4.00	96.11.12		
<p>中央アフリカでは、1989年に農村開発のための農業分野別の協議の結果、①農業分野の近代化の推進、②地方自治組織の強化による農村開発活動の促進、③食糧自給および食糧安全保障対策のための農産物生産の多様化、④国庫歳入および国家経済の改善を図るための商品作物栽培の奨励などの事項を承認し、これらを推進している。</p> <p>1996年度の案件は、上記を受け、91年より5カ年計画で実施されている「サバンナ地域農業生産振興計画」の一環をなすものであり、恒常的に不足している食糧の自給率の向上に対して必要な農業資機材の調達を図るものである。</p>							

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
医療機材整備計画	厚生人口省	㈱第一医療施 設コンサルタ ンツ				96.9 (本)	
<p>中央アフリカの医療施設のサービス向上、運営管理強化、医療技術の増強を図るため、3施設に対し機材の調達を行う。</p>							

チャード

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国の ODA	無償資金協力	(億円) 0	11.61
	有償資金協力	(億円) 0	0
JICAの 技術協力 実績	技術協力経費	(億円) 0.17	0.83
	形態別		
	研修員受入	(人) 7(新規)+1(継続)	41
	専門家派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	調査団派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	機材供与	(100万円) 0	0
単独機材供与	(100万円) 0	0	
開発調査	(件) 0	0	
プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0	

わが国の対チャードODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力 0.32 (100%)

チャード
◎
アフリカ

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計	
ODA わが国の	無償資金協力 (億円)	5.69	56.59	
	有償資金協力 (億円)	0	0	
JICA の 技術 協力 実績	技術協力経費 (億円)	0.16	6.80	
	形態別	研修員受入 (人)	5(新規)+0(継続)	57
		専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	12
		調査団派遣 (人)	2(新規)+0(継続)	35
		協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		機材供与 (100万円)	0	47
	単独機材供与 (100万円)	0	15	
	開発調査 (件)	0	0	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0		

わが国の対コモロODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

技術協力 0.34 (100%)

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農村開発漁業 環境省	(財)日本国際協 力システム	96	1.50	97.3.24		97.3 (実)

コモロでは、年率3.5%の高い人口増加に食糧の供給が追いつかず、現在の農業生産体制では国民の需要を満たすことは難しい状態にある。このような状況の改善には、良質な種子、農業機械、肥料、農薬などの供給による集約化の促進と、これらの生産資材、生産物を運搬するための流通手段を強化することが重要な課題となっている。しかしコモロでは農薬、農業機械の生産が行われておらず、また外貨の不足から、これらの生産資機材を輸入するのが難しいため、外国からの援助に依存しているのが現状である。本件は、上記の状況のもと、コモロの農業生産を向上させるために必要な農業資機材の調達を図るものである。

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
エル・マルーフ病院医療 機材整備計画	エル・マルー フ病院	アイテック(株)	96	3.19	97.3.24		

コモロの医療環境はきわめて劣悪な状況にあり、財政事情の逼迫による基礎的医療機材などの不足が医療サービスの低下を招いている。このため、コモロのトップレフェレル医療施設であるエル・マルーフ病院に対し、検査、治療機器、救急車、焼却炉などの整備を行う。

● コンゴ民主共和国(旧ザイール)

(予算年度)

		1996年度	1996年度までの累計
わが国の ODA	無償資金協力	(億円) 0.44	251.23
	有償資金協力	(億円) 0	497.54
JICAの 形態別 技術協力実績	技術協力経費	(億円) 0.59	65.40
	研修員受入	(人) 6(新規)+0(継続)	261
	専門家派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	160
	調査団派遣	(人) 2(新規)+0(継続)	303
	協力隊派遣	(人) 0(新規)+0(継続)	0
	機材供与	(100万円) 22	660
	単独機材供与	(100万円) 0	342
	開発調査	(件) 0	8
プロジェクト方式技術協力	(件) 0	0	

わが国の対コンゴ民主共和国ODA (1996年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 4.03 (81.7%)	技術協力 0.91 (18.5%)
---------------------------	-------------------------

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
キンサシャ大学病院医療 機材整備計画			86	7.50			96.11 (F/U)

(1) 本体：キンサシャ病院各科の機能強化のための医療機材の調達。 (2) フォローアップ協力：第1次修理班が必要性を確認するとともに、購送を実施したスペアパーツの据え付けにより、CTスキャナーの修理および保守管理に関する技術移転を行った。

コモロ/コンゴ民主共和国 ● アフリカ